

 ゆざまち

議会だより

No.170

9月定例議会号

令和7年(2025年)

11月1日発行

遊佐町議会
ホームページ



さあ刈るぞー!

関連記事…P.20

9月定例会

災害復旧費は7年度繰越へ 注目の事業は!? ……P.2
議会からの「政策提言」 町政に反映されたのか ……P.6
ふるさと納税返礼品予算増額! 子育て支援はあるか…P.8
議員が「今、聞きたいこと」(一般質問) ……P.10
議案内容と採決の結果は ……P.14

委員会レポート(管内視察) ……P.16
議会と少年議会が夢を語る「これからの遊佐町」…P.18
シリーズ遊佐人②③(みわの会) ……P.19
お買物券を当てよう! 議会クイズ・編集室より…P.20

内容の見直しを

7年度完了を目指す●林道は8年度完了へ

一般会計 歳出

107億1965万円

前年度比 3億7891万円(3.7%)増

災害復旧費

3億9787万円



7年度繰越額
11億9320万円

新・道の駅事業費

1億7523万円



議会注目
事業!!

建設工事
業務委託料 **4362万円**
1億3161万円
参考：行政報告書より

PayPay事業

6952万円



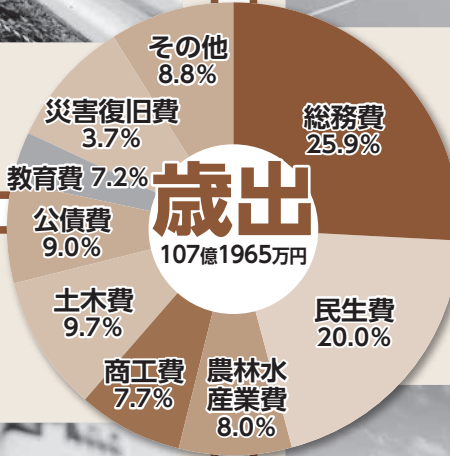
第二次キャッシュレス決済
導入促進支援事業
(6年3月実施) **6952万円**

県立遊佐高校 支援事業

5158万円



遊佐高校魅力化事業 **4168万円**
遊佐高校就学支援事業 **990万円**
参考：議会答弁より



6年度 町債の償還(借金の返済)

注目!!

元金	9億2372万円
利子	3687万円

特別会計歳出

遊佐町国民健康保険特別会計	14億7357万円
遊佐町介護健康保険特別会計	19億2596万円
遊佐町後期高齢者医療特別会計	2億2804万円

災害復旧費
7年度繰越しへ

厳しい財政 事業

●大雨災害の復旧は道半ば 農業施設復旧は

町債

5億4109万円



その他
依存財源
4.4%

前年度比

+1億4429万円

町税

12億9117万円



自主財源
40.2%

前年度比 -9923万円

個人町民税 3億9935万円

法人町民税 6400万円

固定資産税 7億130万円

地方交付税

40億5664万円

前年度比

+2億1792万円



国・県支出金

18億6767万円

前年度比

+3億6553万円

依存財源
59.8%

歳入

116億6968万円

地方交付税
34.8%

町債
4.6%

国・県
支出金
16.0%

町税
11.1%

繰入金
11.5%

寄付金
8.6%

その他
自主財源
9.0%

ふるさと納税寄附金

9億5565万円

返礼品 2億9781万円

通信運搬費 8278万円

手数料 8363万円

業務委託料 4487万円

参考：議会答弁より

経費



前年度比 -3億6974万円

町債の残高(借金)

6年度残高 85億8337万円

5年度残高 89億6859万円

前年度比 -3億8522万円

基金の残高(積立金)

総額

32億
9656万円

主な基金	財政調整基金	8億6610万円
	義務教育施設整備基金	2億9247万円
	パーキングエリアタウン整備基金	8億 325万円
	観光施設整備基金	1億2822万円
	その他基金	12億 652万円

決算審査特別委員会

9月19日・22日

歳入は対5年度比6.6%増も
ふるさと納税寄付金は25.5%の大幅減決算審査…予算執行が適切であるかをチェックするとともに
に次年度の予算編成に提案や改善を求めます。審査の詳しい内容は
二次元コードからご
覧ください。

9月19日 9月22日



決算審査特別委員会

委員長 伊原 ひとみ 副委員長 駒井 江美子

「新・道の駅」事業の

進捗は

「新・道の駅」

問 6年度終了時点での
事業の進捗は。当初の予
定通りか。

(本間 知広)

答 現在のところ工事が
大幅に遅れたということ
もなく、当初の予定通り
に工事が進捗していると
認識している。

「新・道の駅」イメージ図

遊佐町
ふるさと納税

ありがたいふるさと納税

ふるさと納税寄附金

ふるさと納税に
対する経費は鳥海山環境保全希望の
寄附金問 寄附額9億5500
万円。ルールでは経費5
割以下だが当町は。

(今野 博義)

問 全国からのふるさと
納税寄附金。そのうち実
際に使用された金額は。

(那須 正幸)

答 6年度の経費総額は
約5億1千万円。5年度
分の返礼品の発送経費も
含まれており、5割強で
はあるが、ルールにのっ
り適切に運用している。答 4年度の使用目的希
望の割合を基にして算出。
6年度全使用額の36・5%
で2億4500万円ほどで
ある。

遊佐高支援と学校給食

遊佐高校就学支援の内容は

遊佐高校魅力化連携
支援事業問 負担額の総額は。ど
こまでを負担するのか事
業内容の再検討を。

(今野 博義)

問 5年度の事業総額は、
3800万円だったが、
6年度はいくらだったの
か。

(駒井 江美子)

答 総額は990万円。
7年度当初の事業費を見
込んだ上で決算額とし、
使用しなかった分は戻し
入れている。中学校給食業務民間
委託料問 中学校給食の民間委
託料は1485万円であ
るが、調理師の人数は適
正か。

(斎藤 弥志夫)

答 調理師の人数は6年
度に5人であったが、現
在は生徒数の減少のため
4人となっており、適正
な配置である。

県立遊佐高等学校

子育て環境支援

子育て世帯移住

奨励金の返還

補助金増額の要因は

問 5年以上継続して定住が条件であるが、途中での返還世帯は。

(那須 正幸)

答 返還対象世帯は3世帯で、移住から3年以上5年未満での転出。返還金額は奨励交付金額の半分。

問 放課後児童健全育成事業補助金が約400万円増になっているが要因は。

(本間 知広)

答 国、県の事業に対する基準額が6年度から改正され、事業者への補助要件が拡充されたため。

くらし情報

新しいホームページの

効果は

LINE登録者数

拡大が課題

問 6年度にリニューアルされたが、要した経費と、新たに取組みをした内容は。

(菅原 和幸)

問 町が運用するLINEの年間経費と、現時点における町民の登録者数は。

(菅原 和幸)

答 委託料は、約744万円であり、管理費は年間80万円ほどになる。クラウド化も図っており、今後効果が得られる。

答 年間経費は、約105万円である。現在の登録者は3229人であるが、システム上から町民の内訳は判断できない。

快適な生活環境

下水道事業会計の現況

問 一般会計からの負担額と事業の今後の見通しは。

(遊佐 亮太)

答 一般会計負担額合計は5億3千万円。独立採算が理想も、現況は難しい。料金改定、事業効率化を検討。

持家住宅リフォーム補助金は

問 毎年補助金枠が早期に限度に達し、決算額は町の規模に対し適正か。

(渋谷 敏)

答 酒田飽海建設組合からも事業継続と拡充の要請を受けている。実績をみれば不足しているが、実施計画で定めた内容が一定の目安と考える。



好評なリフォーム補助金

その他質疑

家畜貸付基金のあり方

問 牛に限定した制度。年々利用が減っている。制度のテコ入れは。

(遊佐 亮太)

答 飼料費高騰や後継者不足により事業者の事業継続に課題あり。現状は基金のあり方の検討は行っていない。

町勤労者生活安定

資金貸付金

問 町勤労者生活安定資金の貸付金利の割合は。

(斎藤 弥志夫)

答 資金の区分は、生活、教育、福祉、自動車、移住定住、空き家対策の6つで、貸付金利は区分で違うが2・75～1・25%である。

森林環境譲与税活用事業は

問 毎年国からの交付金が基金に積み立てられ、事業が十分に進まない理由は。

(渋谷 敏)

答 森林管理制度に対応して、これまではレーザー測量を実施し、今後は意向調査を進める。災害への対応も検討する。

個人町民税が減った理由は

問 5年度と比較で、個人町民税が減ったのは定額減税や災害のためか。

(駒井 江美子)

答 定額減税、災害のほか、5年度の農家収入が低かったため、6千万円の減収となった。

6年度の提言はどうなった？

提言は町政に反映されたのか 町からの回答を基にお伝えします

提言1 防犯・災害対策とDX推進

提言 早急な避難所開設を目指すため、地域防災計画の強化と実効性のある自主防災組織作りを。

回答 大雨災害を踏まえ、全職員を対象とした避難所開設訓練、対策本部開設運営訓練等の実動訓練を重ねている。自主防災に関しては、出前講座の活用や消防団員、防災士等の協力で技術支援を図る。

提言 町民に迅速でわかりやすく、伝わりやすい情報の提供を。

回答 公式LINEは緊急、夜間の連絡として有効であることから、登録者の増加に努めていく。また、職員の円滑な連絡を取るためにグループウェアを導入し、DX化による災害対応の効率化に向けた検討を行っている。

提言 旧小学校校舎は、防災拠点の施設となるような転用を。

回答 過去は避難施設の考え方として体育館が中心だったが、コロナ禍を経て、施設全体の利用を前提とする必要がある。慎重に検討していく。



旧藤岡小学校

提言2 医療福祉の充実

提言 高齢化に伴い医師や介護支援者の不足が懸念される。関係団体で現状を把握し、将来の展望を示されたい。

回答 医師の後継者不足は町だけでなく広範囲で考えていく課題。町では、新規に看護師等の雇用へ助成金、設備導入へ補助金などの支援を行っている。9年度から開始する予定の地域医療構想の動向を踏まえ、関係団体と連携を図り持続可能な体制の構築を考えていく。

提言 超高齢化社会の現状を踏まえ、福祉関連団体間のDX推進の早急な検討を。

回答 DX推進のテーマで総務厚生常任委員会、介護認定審査会で意見交換会を実施し、様々な意見が出されたところ。現在は事業所からの申請、届出のシステム化を進めている。

提言3 人口減少問題

提言 「子育てしやすい遊佐町」の実現に向け、「市町村こども計画」の策定を。

回答 現在、計画策定は努力義務が課されている状況。他の自治体も参考に今後検討していく。

提言 移住・定住しやすいよう、空き家対策としての賃貸住宅の拡充を。

回答 移住・定住に繋がる賃貸住宅の確保は課題。今後もリフォームや家財道具処分、仲介手数料の支援を行い、1件でも住宅を確保できるよう取り組む。

提言 通学や通院に利用できるよう「デマンドタクシー」の充実、広域に利用できる交通機関の確保を。

回答 「デマンドタクシー」の充実は、検討しているが諸事情により見直し、実施に至っていない現状。地域公共交通の充実は、重要な課題と認識。今後も利便性向上の方策を検討していく。広域交通は関係団体と協議・連携し検討していく。

提言4 遊佐町公共施設等の適正管理

提言 町有施設の貸し出しにあたり、一般事業者の採択などに関して条例などで明確に。

回答 一般事業者へ貸し出す場合は、先行事例を参考に例規を制定する。

提言5 自然環境の保護と「ゼロカーボンシティ宣言」

提言 平成2年以降に植林された森林はCO2吸収源としてカウントされる。適正な管理は災害防止につながることから、森林吸収源必要性の検討を。

回答 地域社会・経済の持続性の観点から、吸収源対策の事業化の検討は必要だが、まず既存の整備事業が行われることが大切。現在、関係部署が連携して取り組みを検討している。

提言 鳥海山の恵みを将来に引き継ぐため森林整備に関する方針を明確にし、事業の推進を。

回答 森林機能を維持・保持していくために、森林環境譲与税を活用し所有者の意向調査や、レーザー測量を行い集積・集約に努める。また「遊佐町森林経営管理推進協議会(仮称)」の設立を予定しており、関係者の連携を強化する新たな取り組みを構築していく。

より良い町に
願いを込めて

政策提言



遊佐町議会では、町政の重要課題に関し政策提言を行っています。議会は提言の趣旨を十分にくみ取り、適切に町政に反映させるよう求めます。

提言1

子育て・学びの環境充実

1. 放課後児童クラブ等の充足率等の公開を行い、待機児童の状況がわかる仕組み作りを。
2. 町内の高校生へ、切れ目のない支援のため必要な補助制度の創設を。
3. 空き家対策との連携による、賃貸住宅利活用の拡充を。



子ども達の居場所づくりが重要

提言2

実効性ある、防災拠点整備と共助体制の構築

1. 自主防災組織を実効性ある体制へ強化を。
2. 避難所等へ備蓄品の充実を。
3. 締結済み災害協定の精査・更新、内容の公開を。



避難所開設訓練

提言3

農業担い手育成と産業活性化

1. 農家を継ぎやすくするための補助メニューを強化し、その状況の公開を。
2. 地域おこし協力隊事業を活用し、農家の後継者として就農できる仕組み作りを。



担い手育成が課題

提言4

関係人口を拡げる学習・交流プログラム

1. 関係人口拡大の施策として、首都圏等の幼児・児童・生徒・学生を対象に教育旅行の誘致を。
2. 郷土愛を育むため、地域の「探求学習」の推進を。



遊佐の自然を素材に学習
鳥海山・飛島ジオパーク

補正予算審査特別委員会

9月12日

災害復旧事業5480万円を含む
7億500万円の補正予算が可決

除雪経費	5000万円
持家住宅リフォーム支援事業	1200万円
節目年齢の子どもを育てる保護者支援	1082万円
観光施設整備事業	4422万円
財政調整基金積立金	2億6904万円

その他の補正予算

補正予算審査特別委員会

委員長 渋谷 敏

副委員長 遊佐 亮太



審査の詳しい内容は二次元コードからご覧ください。

災害復旧総額と

完了見込みは

問 農業関連部分での災害復旧費の総額と復旧完了の時期は。

(今野 博義)

図 現段階で農業施設で11億5千万円、林道関係で1億6千万円の見込み。林道は8年度までかかるが、他は7年度完了を指している。



復旧完了に向けて

災害復旧

遊佐ブランドの推進

ウイスキーの町遊佐

地域経済循環創造事業補助金

問 地域活性化起業人発案の観光モデルツアー。事業の詳細は。

(遊佐 亮太)

問 総務省のローカル10000プロジェクト。事業の詳細は。

(遊佐 亮太)

図 メディアを招き、バスで蒸溜所訪問、町内食材を用いた食事提供。同一自治体内に複数蒸溜所があるのは稀。

図 放置竹林整備にもつながらるメンマ製造販売事業の規模拡大への支援。事業者自らが採択に向けて努力。

問 地方の活性化を目論む地域経済循環創造事業補助金の内容は。

(斎藤 弥志夫)

図 放置竹林を整備し、孟宗竹で特産品のメンマを作るのに総務省の2分の1の補助金がある。非該当でも町で最大限支援する。



ふるさと納税

ふるさと納税のサイト数は

問 納税関係の手数料増額だが、現在利用しているサイト数はどれくらいか。

(佐藤 俊太郎)

図 5年度まで4サイトだったが6年度に10増した。7年度に4増し、現在14サイトの利用である。7年度1増予定。

観光施設の維持と整備

観光施設の備品購入費は

あぼんのエアコン更新

問 指定管理事業者とはいえ、収益事業を行っている。備品費は町で負担するものなのか。

(伊原ひとみ)

図 町と指定管理者とでリスク分担表の取り決めをしている。30万円以上の損傷費用の分は町が負担となっている。

水は宿泊施設の命

問 大平山荘給水運搬作業委託料に300万円の計上。その内容は。

(那須 正幸)

図 開設時点検でタンクに沢水が上がらない故障が発生し修理。さらに、夏場の温水により、町の給水車で水の運搬を業者に委託した。



あぼん西浜

問 工事費3千万円、町債での対応に緊急性を感じる。更新に至る経緯は。

(本間 知広)

遊佐高校支援と子育て支援

遊佐高校魅力化連携

支援事業

一度だけでなく

今後も継続を

問 会計年度任用職員を一人採用の経緯は。

(駒井 江美子)

図 県外留学生の数が増えているが、担当する地域おこし協力隊を確保できていない状況を改善するため。

問 物価高騰重点支援交付金。節目年齢子どもたちへの給付金の詳細は。

(今野 博義)
(斎藤 弥志夫)

図 年長児、小学6年生、中学3年生、高校3年生の保護者に対し3万円の給付金を支給し支援するもの。



さらなる魅力化を目指す遊佐高校

安心して暮らせる町づくり

自主防災活動助成金

高齢者施設の設備整備に

問 どの地区で、どのような活動に使われるのか。詳細は。

(伊原ひとみ)

図 吹浦財産区基金活用に伴う補正。吹浦地区内の防災備蓄品充実のため、吹浦地区に限り3分の2の町の助成と3分の1の財産区基金を利用。

測量設計委託料は

問 旧広畑橋撤去工事に関する設計変更理由は。

(佐藤 俊太郎)

図 現地踏査の結果、工法の変更による工期短縮が可能と判断されたため。

問 災害時のライフライン確保のため、介護施設の設備整備に交付する内容は。

(菅原 和幸)

図 国が全額補助する「地域介護福祉空間整備」交付金制度。上藤崎地区にある小規模多機能結いに、自家発電装置を整備するため交付する。

空き家解体撤去

補助金を増額

問 補正後550万円になるが、補正対応の件数は。老朽危険度で100点以上はどの程度か。

(菅原 和幸)

図 補正額150万円は、相談件数18件の内、4件に充てる。100点を超える危険な空き家は7年度の申請では1軒のみである。

LED電球が高額

福祉の充実

問 子どもセンター遊戯室のLED照明設置工事の必要性は。

(那須 正幸)

図 8個のうち2個が故障。水銀灯の生産中止、足場代等もかかることから全てを交換。電球は参考見積り、税抜きで1個当たり4万4880円となる。



子どもセンター

その他質疑

普通交付税の留保額

戸籍総合システム改修

問 例年よりこの時期の留保額が少ないようだが、その理由は。

(駒井 江美子)

問 市区町村長記録対応実施のための改修だが、内容は。

(本間 知広)

図 企業からの固定資産税収入が増えたため、その分、算定により普通交付税が減額となっている。

図 戸籍のふりがなを修正する際、従来は個別で行っていたが、改修後は一括で行うことができるようになるもの。

一般質問

町の事業と課題を問う 10 議員登壇 9月9日・10日

菅原和幸議員

○遊佐都市下水路の排水対策は万全か

斎藤弥志夫議員

○自転車の交通違反は青切符

遊佐亮太議員

○水道事業の持続可能性は

本間知広議員

○遊佐町総合発展計画の考え方は

伊原ひとみ議員

○町の交通手段の課題と今後は

今野博義議員

○「新・道の駅」公共工事入札の考え方は

那須正幸議員

○新規就農者町はどう増やす

渋谷敏議員

○町が管理する道路標識の整備は

佐藤俊太郎議員

○熱中症対策における提言

駒井江美子議員

○町の不登校の現状と対応は

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。*各議員の一般質問録画映像は二次元コードからアクセスしてください。



遊佐都市下水路の排水対策は万全か



遊佐都市下水路付近の内水氾濫
(令和6年7月25日撮影)

問 月光川の六日町地内で、県が排水樋門の設置を進めている。外水氾濫を防ぐ目的だが、設置後は、内水が溜まりやすい懸念もある。完成後の水門管理は県なのか。大型車輛の進入は、可能なのか。

答 下水路の末流では、内水の排水能力を高めることが必要であると認識する。遊佐都市下水路の排水樋門は、完成後に町に移管されることになっている。管理のための道路整備の検討も、必要と考える。

水門の管理用道路の検討も



すがわら かずゆき
菅原 和幸
議員



質問者の動画が見られます。

毎日のようにクマの情報が防災アプリに入ってきます。クマよけの鈴、ラジオを持って時間帯を考えながら畑に行っていますが、帰ってくるまで心配です。(吹浦 Hさん)
Re:重要なのは遭遇しないこと！自分の存在をアピールしつつ周囲を確認しながら作業を。



自転車の交通違反は青切符



自転車の事故が増えて罰則が必要
交通事故は減っているが、自転車に関わる重大事故は増えている。113の青切符項目があつて罰則が強化されている。出前講座や交通安全県民運動で啓発と啓蒙を行つて安全運転の周知を図る。

問 8年4月から自転車の交通違反は青切符であり、16歳未満は指導警告で警察から学校に連絡がいく。スマホのながら運転は1万2000円の反則金である。自転車の運転は遊びではない。



質問者の動画が見られます。

水道事業の持続可能性は



問 料金改定なしでは収支がマイナスになるのは試算済み。料金審議会で水道料金だけでは費用が賄えなくなる旨を説明した。料金改定のみならず、配水区域見直し等による効率的な事業運営も検討。

問 水道事業会計はほぼ収支均衡。大楯浄水場の建替予定による大幅支出が見込まれる。他設備の定期的な更新も必要だが、物価高騰が進む。人口減による収入減も予想される。今後の計画は。



質問者の動画が見られます。

遊佐町総合発展計画の考え方は



1年前倒しで作成

問 多くの課題を克服するためには町民と行政の「協働によるまちづくり」を進めることが重要である。また、必要な財源を確保するために事業の「選択と集中」「縮充」の考え方で取り組んでいく。

問 町の最上位計画である総合発展計画が「社会情勢に対応するため」に1年前倒しで策定される。人口減少など課題が山積する中、どのような考え方で今後10年の計画を立てていくのか。



質問者の動画が見られます。



町の交通手段の課題と今後は



デマンドタクシーは全町民
誰でも利用できることの周知を

問 デマンドタクシーは利用者数の減少等課題があると認識している。今後の地域公共交通の見直し方針を検討するため、コンサルに調査・分析業務を委託しており、その結果を踏まえ検討を進める。

課題を整理、検討を進める

問 町内を移動するための交通手段は複数あるが、デマンドタクシーの利用者数減少や委託料増加等課題がある。利用促進のための周知や運行、今後の運営の考え方は。



いはら
伊原 ひとみ
議員



質問者の動画が見られます。

「新・道の駅」 公共工事入札の考え方は



移転工事が始まった旧蕨岡小

問 地域経済活性化のため条件付一般競争入札、指名競争入札ともに町内事業者を優先的に対象としてきた。基本的にはこれまで同様だが現在大雨災害復旧工事もあるため分離発注も含め今後検討していく。

分離発注も含め今後検討していく

問 蕨岡まちセン移転改修工事入札では不落の情報が開示されていない。2回目の入札で地域要件が酒田市の事業者まで拡大された。これまではあまりなかったことである。「新・道の駅」工事入札の考え方は。



こんの ひろよし
今野 博義
議員



質問者の動画が見られます。

新規就農者 町はどう増やす



守りたい遊佐の農業

問 近隣市町でも類似のない新規事業。国の補助事業に該当しない50歳未満の後継者に、100万円を補助する町単独事業。後継者が認定農業者等であること、農業経営開始年度から3年以内などの要件がある。

問 高齢化による農業離れ廃業者の増加による後継者問題が大きな課題の中、新規サポーター事業として「親元独立就農者支援事業」を掲げた。事業の内容とその取り組みは。



なす まさゆき
那須 正幸
議員



質問者の動画が見られます。



町が管理する道路標識の整備は



劣化した標識

答 町道総延長250km、487路線を管理する町として、現場標識の実態調査は必要であると認識する。確認後、必要性、優先順位を検討し維持管理を実施していく。

現場の実態を調査して対応する

問 町が管理する町道、農道の警戒標識の劣化が見られる。実態の調査と修繕計画が立てられていないため、整備が進まない。町の交通安全対策を講じるために、今後どのように進める考えか。



しげや さとし
議員



質問者の動画が見られます。

熱中症対策における提言



防災無線の活用を

答 3年から平日において注意喚起を実施している。休日の放送は、今後機器の整備調整を含め関係各課と協議する。

関係課と実施を協議する

問 熱中症を未然に防止するためには、防災行政無線を最大限に活用すべきである。注意喚起放送を制度化して実施し、休日においても実施できるような機器を整備しては。



さとう しゅんたろう
議員



質問者の動画が見られます。

町の不登校の現状と対応は



文科省による
教育機会
確保法の案内

答 小中学校どちらも不登校者数は、増加気味である。問題行動とは捉えず、一人ひとりに応じた状況理解に努め、子どもや保護者が安心して学校とつながりを保てるよう学習補償や自立支援を行っている。

数は増加気味、寄り添い支援する

問 不登校の小中学生は、年々増加傾向にある。平成28年に教育機会確保法で不登校の子どもたちへの支援などが制定された。不登校の子どもとその保護者に情報提供を含め町の支援、対応は。



こまい えみこ
議員



質問者の動画が見られます。

【お詫びと訂正】 議会だより169号に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P5「調査結果中間報告」内 上段項目

誤)遊佐町議会活動等に関する調査特別委員会 正)遊佐町沖洋上風力発電事業計画に係る調査特別委員会

9月定例会の議案内容（一般会計補正予算他、21件）

議案番号	議案名	内 容
議61号	令和7年度遊佐町一般会計補正予算（第3号）	歳入、歳出にそれぞれ7億500万円を追加し 歳入、歳出にそれぞれ111億1900万円とする
議62号	令和7年度遊佐町介護保険特別会計補正予算（第1号）	歳入、歳出にそれぞれ4100万円を追加し 歳入、歳出にそれぞれ19億5400万円とする
議63号	令和7年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳入、歳出にそれぞれ260万円を追加し 歳入、歳出にそれぞれ2億4335万円とする
議64号	令和7年度遊佐町水道事業会計補正予算（第1号）	収益的支出に251万円を追加する
議65号	令和6年度遊佐町各会計歳入歳出決算の認定について	審議内容をP2～P5に記載
議66号	遊佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に基づき、職員の仕事と育児の両立支援を図るためのもの
議67号	遊佐町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に基づき、育児時間の多様化を図るためのもの
議68号	遊佐町過疎地域の持続的発展の支援に関する固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例の制定について	減収補填制度の適用期限の延長と取得期限の満了に伴い、関係する規定を整備するもの
議69号	遊佐町水道給水条例の一部を改正する条例の制定について	災害その他非常の場合において、他の市町村長の指定を受けた者が給水装置工事を行うことができるよう、所要の改正を行うもの
議70号	遊佐町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	国の定める標準下水道条例の改正に伴い、町条例を改正する必要があるためのもの
議71号	令和6年災第9114号・第9115号・第9116号合冊町道杉沢本線道路災害復旧工事に係る請負契約の一部変更について	設計変更により契約金額が5000万円以上となったため、地方自治法第96条第1項第5号の規定による提案
議72号	令和7年度山崎マンホールポンプ更新工事請負契約の一部変更について	設計変更により契約金額が5000万円以上となったため、地方自治法第96条第1項第5号の規定による提案
議73号	令和6年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について	6年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定によるもの
議74号	令和6年度遊佐町下水道事業会計剰余金の処分について	6年度遊佐町下水道事業会計剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項及び第3項の規定によるもの
議75号	遊佐町教育委員会委員の任命について	石川茂稔氏が、9月30日をもって任期満了となることから、新たに本間優子氏を任命することに同意
議76号	遊佐町教育委員会委員の任命について	齊藤敦子氏が、9月30日をもって任期満了となることから、再び同人を任命することに同意
議77号	遊佐町固定資産評価審査委員会委員の選任について	土門敏之氏が、9月30日をもって任期満了となることから、再び同人を任命することに同意
議78号	人権擁護委員候補者の推せんについて	小田原裕氏が12月31日に任期満了となることから、再び同人を候補者として推せんすることに同意
議79号	遊佐町農業委員会委員の任命について	現委員が11月30日に任期が満了となることから、16名の委員を任命することに同意
発議6号	まちづくり政策提言の提出について	遊佐町議会会議規則第14条の規定により提出するもの
発議7号	遊佐町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議会に係る手続きのオンライン化に対応した改正、委員選任に関する規定の見直しについて定めるもの
発議8号	遊佐町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	5年の地方自治法の一部改正に伴い、議会に係る手続きのオンライン化に対応とした改正、現在の社会情勢等に照らし所要の整備を行うため定めるもの

〈傍聴者 のべ10人〉

賛否が分かれた議案 9月定例会

○賛成 ×反対 議長(高橋冠治) は採決に加わらない

上程議案		遊佐亮太	伊原ひとみ	駒井江美子	今野博義	渋谷敏	本間知広	那須正幸	佐藤俊太郎	菅原和幸	土門治明	斎藤弥志夫	高橋冠治	議決結果 (賛成：反対)
請願第2号	沖縄県南部地域からの土砂採取計画を中止し、遺骨収集の環境を守ることを国に求める意見書に関する請願													
総務厚生常任委員会で審査した結果、上記請願は不採択になったため、本会議で不採択に対する採決を行った。		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	—	可決（9：2）

請願

請願は不採択に



審査の詳細内容は
二次元コードから
ご覧ください。

沖縄県南部地域からの土砂採取計画を中止し、 遺骨収集の環境を守ることを国に求める 意見書に関する請願

【請願者】 平和の礎 お名前を読み上げる山形の会 代表 漆山 ひとみ

請願の
要旨

- ① 沖縄戦の戦没者の遺骨が今も眠る地域から土砂を採取し海に埋め立てないこと
- ② 沖縄戦の戦没者が数多く眠る地域の遺骨収集の環境に手をつけないこと

審査を付託された総務厚生常任委員会の意見は「不採択」

部分採択や継続審査の意見も出た中、不採択の理由は

- ① 請願内容が辺野古基地にまで及んでいること。
- ② 南部地域に特定しているため、沖縄の民意を議会として判断するのが困難である。
- ③ 辺野古基地に反対ではないという点が請願の本文の趣旨内容から判断できない。

「不採択」に1名の賛成討論がありました

菅原 和幸 議員

請願者は、沖縄戦の戦没者に関する陳情書を、本議会へ2件提出されている。他の自治体への請願等からみて、5つの会の代表にも就かれている。国は、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律に基づき、6年度まで集中的に実施するとされている。

土砂採取について、国が沖縄県へ提出した計画を知事が不採択とし、国が代執行をしたことについて、最高裁が下した判断もある。関連する法律の改正などを含めた請願ではないことなどから、委員長報告のとおり不採択とすべきである。

／そこがききたい！／

町民と議会の懇談会

令和7年 11月18日(火) 午後6時～午後7時30分

会場

遊佐町生涯学習センター 2階
大会議室

皆さまのお越しをお待ちしております



災害時の避難

命を守る行動

避難指示が発令された際の避難の考え方を整理し、町政課題に反映させるため、危機管理アドバイザーから研修を受けた。



出前講座形式の座学

スマホ道場

指導の中にも交流あり

4年度から地域おこし協力隊が取り組んでいる「スマホ道場」の見学を行った。のべで263日の開催、2356名が指導を受けた（8月21日現在）。



エルパ内にて

佐藤 俊太郎

高齢女性の質問に丁寧に対応中の道場主。30分前前は、複数人に指導実施とのこと。受講者に対し、利便性と共に危険性についても教示。さらなる活躍を期待する。

遊佐町総合交流
促進施設株式会社

町が出資する3セク

代表取締役交代という転機もあり、新体制での経営方針や「新・道の駅」の運営との関わり、現在の道の駅の利活用について説明を受けた。



経営課題について議論

吹浦保育園

子どもたちの安全

大雨災害時の園児避難の状況と、日常の避難訓練および閉園後の計画の説明を受けた。



園児の声が響く中で

遊佐 亮太

園舎に水が迫る中、救助にあたった消防団を頼もしく思う。

防災倉庫

災害の経験を踏まえ

6年7月25日の大雨災害では多くの方が避難所に身を寄せた。避難生活が長期に渡った際、備蓄用品はどれ程の方に行き渡るのかなど説明を受けた。



資機材などの確認

ト (管内視察)

総務厚生常任委員会

実施日 8月29日

普段集落に向いて行われている出前講座形式により、災害時の避難はその場の状況に合った判断が大切なことを学ぶ。平時から避難経路の確認も必要。

渋谷 敏

今野 博義

物価、人件費の高騰や人手不足に苦慮しながらも改善の姿勢が見える。今後、委託料など町の支出をいかに抑えることができるか新体制に期待したい。

他保育園より園児数が少なく、運動会や学芸会をするにしても十分な活動ができず、閉園はやむなし。閉園後は放課後児童クラブとして活用予定。

斎藤 弥志夫

防災倉庫には水と食料、毛布などの他に、投光器や発電機、オムツやナプキンなどの衛生用品が保管されていた。

土門 治明

文教産健常任委員会

実施日 8月27日

鮭ふ化事業の現状

厳しい事業環境

枳川孵化場で近年の鮭ふ化事業の現状を尾形組合長からお聞きした。

鮭は、前期と後期に分かれ遡上する。しかし、近年前期群の遡上数が少なく、後期群がふ化事業の頼みの綱となっている。北海道でも6年は十分な量の採卵ができず、枳川、箕輪の卵が全国のみ化事業を支えている。縄文から続く鮭文化をどう守り、その魅力を伝えていくかが課題だ。

地域の固有種である後期群を守るため、努力されていた。「新・道の駅」と連携し、鮭ふ化事業を観光資源として活用することを目指す。

菅原 和幸



枳川孵化場

吹浦地区水害対策

6年の大雨災害を受けて

6年の大雨災害で吹浦地区は都市下水路があふれて浸水した。町は対策の一つとして角落しを設置し、排水ポンプで水を汲みだすことになる。その際に必要な物、手順を確認。様々な機関や団体と連携が必要だとを学んだ。



吹浦漁港付近

暑さ対策の効果検証

遊佐小学校

7年3月に小学校体育館に貼った遮熱フィルムの効果を確認。晴れた日のほうが効果が大きいとのことだったが、曇りだった視察の日も涼しさを実感できた。ランチルームと図書室の暑さ対策も必要があることを体感した。



遊佐小 暑さ指数案内

部活動の地域移行

1年前倒しで実施

遊佐中学校の部活動は、国の方針より1年前倒しで7年度から地域移行している。これまでの経緯と実際に移行した現状をコーディネーターから説明を受けた。部活ごとに受け皿を確保し、対応しており、大きな混乱もなくスムーズに移行できているとのことだった。



コーディネーターよりお話を聞く

地域活性化起業人

町の可能性と課題

7年4月から着任した地域活性化起業人に、遊佐町の可能性と課題を中心に活動報告を受けた。魅力の発信不足とブランディング不足など長年企業での経験を活かした的確な指摘を受けた。今後、町が起業人の力を存分に生かして動いていくことに期待。

町のポテンシャルは、私たちと同様な思いを持っていたが、根本的に違うのが、宣伝力・発信力の考え方があった。

高橋冠治

その他

月光川河川工事現場



6年の水害を受けての対策。港からの逆流を防ぐために設置。水門組合、消防団、建設業者との連携が取れていた。

那須 正幸

暑さ対策として行われた事業。直射日光と比べて柔らかい光になり、職員の評判も良かった。中学校でも実施してもらいたい。

本間 知広

スムーズに移行できた要因は、これまでの地域の各クラブとのつながりが功を奏しているものと感じた。

伊原ひとみ

夢を語る 「これからの遊佐町」

第23期少年議会との意見交換会 9月26日

大雨災害の影響で昨年度は開催できなかった少年議会との意見交換会が開催されました。今年度で6回目となります。今回は、①「遊佐町の知名度をあげるにはどうすればいいのか」②「テーマ①に対して、自分たちは何ができるか」と2つのテーマを4つのグループに分かれて熱く語り合いました。難しいテーマでしたが、色々な意見が出て、お互いに刺激を受け合った時間でした。

A班



遊佐町キャラクター米～ちゃんをもっと活用する。米～ちゃんの結婚から家族ができるまでを動画作品にして遊佐町の政策（補助金や手当）などを紹介する。

B班



遊佐町には、小・中・高とあるので大学も作る。米～ちゃんをヒーローにした映画を作る。中学校の授業で取り組んでいるパブリカインクを開発して、特産品にする。

C班



遊佐町にあるものでSNSを効果的に活用してインパクトのあるやり方で紹介する。

D班



「新・道の駅」もできるので、食のテーマパークを作り、遊佐町のことを知ってもらう。

シリーズ 遊佐人²³ Yuzajin

紙芝居を始めたきっかけ



紙芝居風景

前号で紹介された読み聞かせの会「たんぽぽ会」に、読み聞かせが好きだったので入りました。町立図書館ができた年、図書館で紙芝居の講座を受講しました。子どものころ、集落にくる紙芝居屋が楽しみだったこともあり、自分でも作りたいと思いチャレンジ

紙芝居みわの会

子どもたちは遊佐の宝。子どもたちを育む施設や団体をたずねます。今回は、自作の紙芝居を制作して活動している「みわの会」。

お話づくりを担当している後藤弘実さんにお話を伺いました。

想いをのせて

ジしました。初めて作った作品は、遊佐に伝わる昔話の1つ、「手長足長」でした。

八ッ面観音様のお祭りを駅前の人たちが関わり、行っていたのですが、世代が代わり、その由来がちゃんと伝わって来なかったように思います。しかし、観音様が火伏の神様であることを聞いた時、子どものころ、近所であった火事でとても怖かったことを思い出しました。このお祭りが始まった由来を調べ、地区の方々に知って貰いたいと思い、2作目の「八ッ面観音様」を作りました。

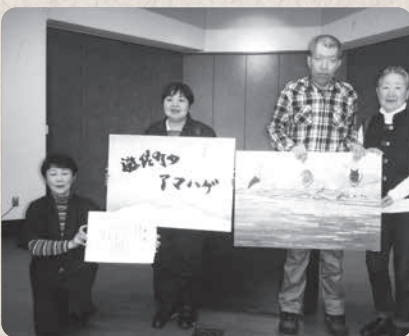
絵は、あまり得意ではなかったのですが、同級生の友人にお願いして引き受けてもらいました。2人の名前をとって、



お寺で紙芝居

「みわの会」として活動するようになりました。

私たちは、当たり前だと思っていたことも、物が目の前からなくなると、どんな事だったか、どんな物だったか思い出せないことがよくあります。そんな経験から、遊佐町でこれまで引き継がれてきた伝統や行事を紙芝居にし、残していきたい、遊佐の自然豊かな環境を大切に守っていきたいという自分の想いを、紙



ゆうとぴいの利用者さんと

分かち合える喜び、 伝わる喜び

芝居にのせて作るようになりました。

紙芝居は、山形市内での研修で刺激を受けながら、遊佐高校の生徒さんや、多機能事業所ゆうとぴいの利用者さんたちとも作りました。ゆうとぴいの利用者さんとは、大型紙芝居「遊佐町のアマハゲ」で、文科大臣の優秀賞をいただくことができました。アマハゲが身に付けるケンダンの藁の一本一本もとても緻密に繊細に仕上げ、5年間かけて完成しました。

このように一緒に作った仲間たちと、喜びを分かち合え



表彰の様子

る瞬間は最高でした。

また、私の想いが、紙芝居を通して聞いてくださった方たちに伝わったときも大きな喜びを感じます。

今後のこと、町に望むこと

これから、四つの物語を紙芝居にしたいと思っていますが、焦らず一つずつ丁寧に作っていきたくと思っています。

これまで遊佐に関わる紙芝居など、たくさん作品を作ってきました。遊佐の人は当たり前に知っている昔話などでも、移住者さんなどは知らない場合もあります。そのようなときに、これらの紙芝居を活用することを考えてもらえたらありがたいと思います。

議会を見学しませんか

遊佐町議会は、年間4回の定例会が開催されます。

12月定例会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。

ぜひ一度、見学してみませんか？

12月定例会の予定

12月 2日 (火)	本会議・一般質問
12月 3日 (水)	一般質問
12月 5日 (金)	補正予算特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

表紙の写真

いなほ学園稲刈り体験 稲川まちづくり協会

青空の下、9月27日に稲川まちづくりセンターそばの田んぼで稲刈り体験が行われた。元は稲川、藤崎小学校の学校田。閉校した後、も田植え、稲刈りの体験事業を続けている。今回は、いつもより多い参加者でにぎやかな稲刈りになった。始まる前から気合十分の子や、やり始めてから「思ったより楽しい」と素直な感想を話す子もいた。



子どもたちの稲を刈るのが速くて、束ねていく作業が追い付かないくらいだった。地区の人が続けてくださるからこそできる体験にありがたいと感じた。

議会クイズ No.126



正解者の中から10名様に米「ちゃんスタンプ」カードお買い物券1000円分を、お届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません。町広報に折込みのハガキは使えません。なお、当選者は町民に限定させていただきます。

問題 ①6年度ふるさと納税の金額は？

- A 9億5565万円
B 10億5565万円
C 11億5565万円

令和7年8月1日169号の議会クイズには33名の方の応募があり、30名の方が正解でした。

②自転車でスマホながら運転違反の反則金は？

- A 100000円
B 120000円
C 150000円

答え ①C ②B ③A

当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

③自作紙芝居を使い活動している会は？

- A ゆざの会
B はなの会
C みわの会

ハガキの余白に答えのほかに議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

応募方法

ハガキに答えの記号

(例①A ②B ③C)

住所、氏名、年齢を書いてください。

あて先／999-8301

遊佐町遊佐字舞鶴202

役場内 議会事務局

締め切り11月30日

発表は次号です。

編集室より

広報常任委員会のメンバーが3人入れ替わり、新たにスタートしました。写真を多く使った分かりやすく読みやすい広報になるよう努力します。町の広報と議会だよりを併せて読んでいただくと、町の状況がより分かりやすくなると思います。ご期待ください。(斎藤弥志夫)



発刊人

議長 高橋冠治

議会広報常任委員会

委員長 本間知広

副委員長 駒井江美子

委員 斎藤弥志夫

委員 菅原和幸

委員 佐藤俊太郎

委員 今野博義